



# 学び 受け継ぎ

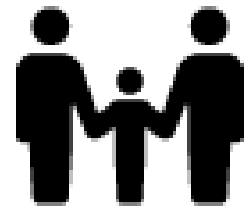
## 持続するエシカル教育の循環

四国大学文学部国際文化学科 2年

前田 波萌      阿部 みちる

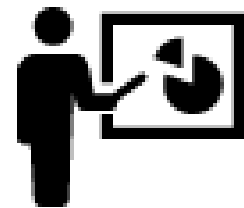
# 1. 消費者教育の現状

家庭教育



家庭内の躰としての要素  
お小遣いの使い方  
保護者の考え方が子どもに影響  
家庭内で消費者問題に関する会話は少ない

学校教育



消費者教育、環境・金融・経済教育  
持続可能な地域の担い手教育  
様々な科目からのアプローチが盛ん



弱点：受験に必要な科目ではない

社会教育



地域コミュニティにおける生涯教育  
地域活動への参加機会や意欲の格差  
企業の社員教育としてエシカル教育  
エシカル消費と地域活性化の関連意識が希薄

## 2. “循環”していない消費者教育の課題

### 消費者教育推進法



“学んだ人”が“教える人”としてバトンをつなぐ



未来世代がエシカル消費の地域牽引力となる

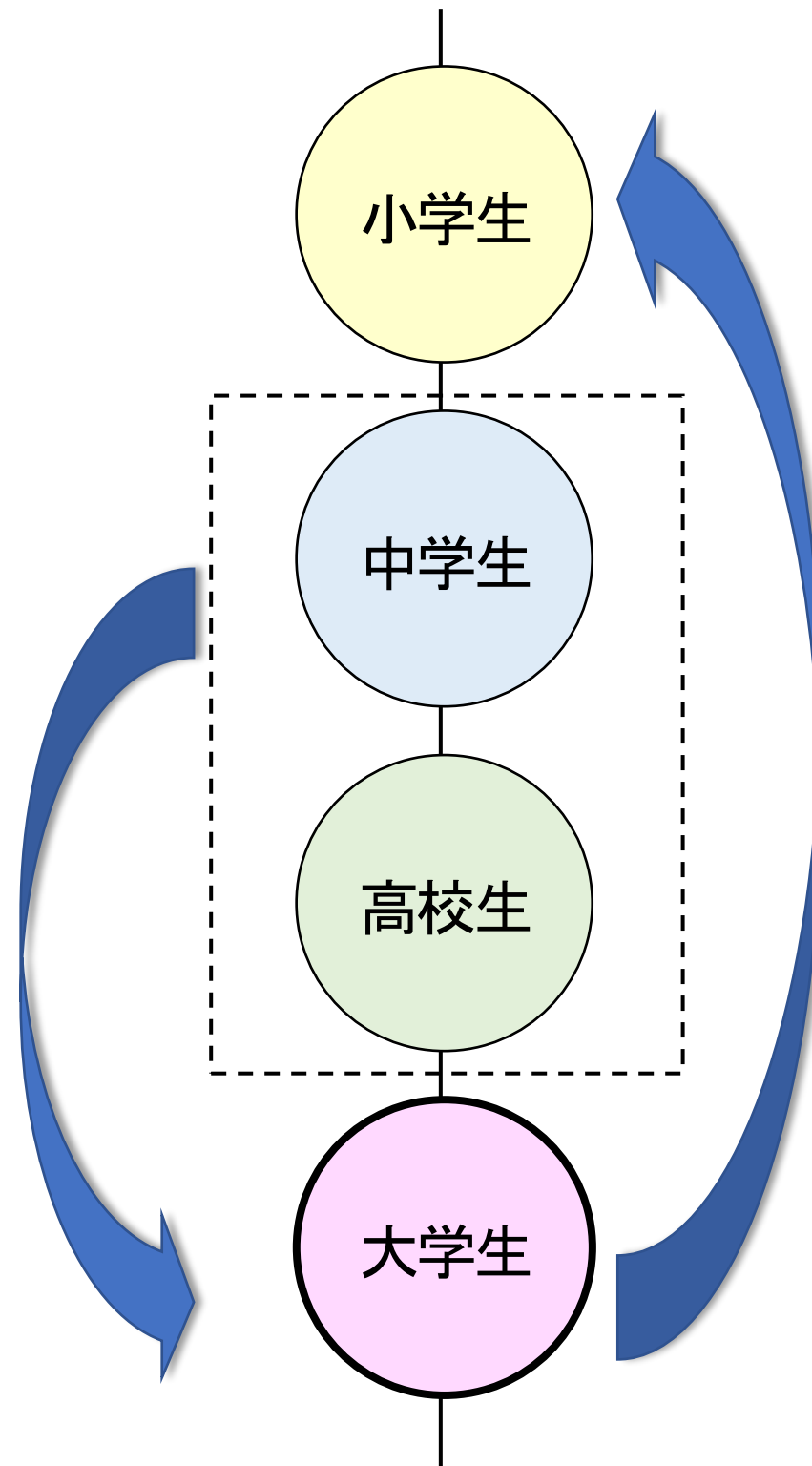




### 3. 提言

“学んだ人”が“教える人”としてバトンをつなぐ  
～大学生が主役となる消費者教育循環モデル～

中学生・高校生が  
大学生と探求する  
**「エシカル大学」**  
\* 新しい学びを結ぶ  
オープン大学スタイル



エシカルを学んだ大学生が、  
小学生にエシカル消費を教える  
**ETA制度の展開**

\* Ethical Teaching Assistant



# エシカル教育とエシカル消費の実践で 社会課題を解決する！



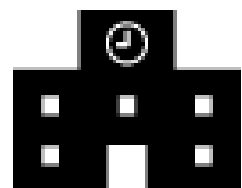
未来世代が  
牽引力



地域独自の  
エシカルを発掘



エシカル教育で  
世代をつなぐ



学校・大学での  
授業

知

エシカル  
教育



学校の枠を超えた  
オープンな学び

地